

令和6年度第4回ヨコハマeアンケート

梅毒の特徴が見えてくる？梅毒の認知度に関するアンケート

実施期間 令和6年5月24日（金）から6月3日（月）

事業所管課 医療局 健康安全課

回答者数 1,593人（回答率：33.3%）

【参考】eアンケートメンバー数 4,789人（5月24日時点）

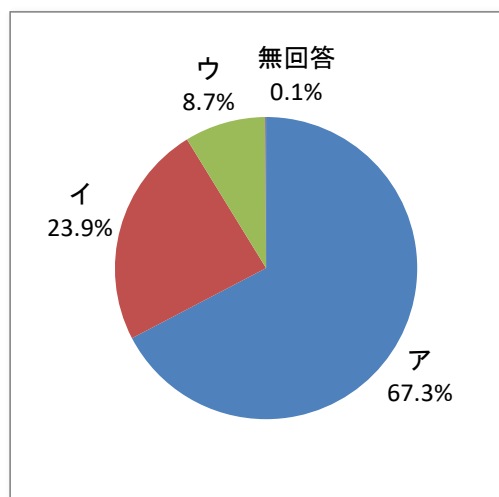
年代別、性別の回答者構成比

	20歳未満	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳以上	計
男性	2 (0.1%)	5 (0.3%)	30 (1.9%)	97 (6.1%)	204 (12.8%)	285 (17.9%)	211 (13.2%)	52 (3.3%)	886 (55.6%)
女性	0 (0.0%)	19 (1.2%)	77 (4.8%)	142 (8.9%)	263 (16.5%)	145 (9.1%)	38 (2.4%)	5 (0.3%)	689 (43.2%)
その他	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.1%)	3 (0.2%)	3 (0.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	7 (0.5%)
答えたくない	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.1%)	2 (0.1%)	5 (0.3%)	2 (0.1%)	0 (0.0%)	1 (0.1%)	11 (0.7%)
計	2 (0.1%)	24 (1.5%)	109 (6.9%)	244 (15.3%)	475 (29.8%)	432 (27.1%)	249 (15.6%)	58 (3.7%)	1,593 (100.0%)

Q1 梅毒は細菌（梅毒トレポネーマ）により感染する性感染症と知っていますか。
（単一選択）

n = 1,593

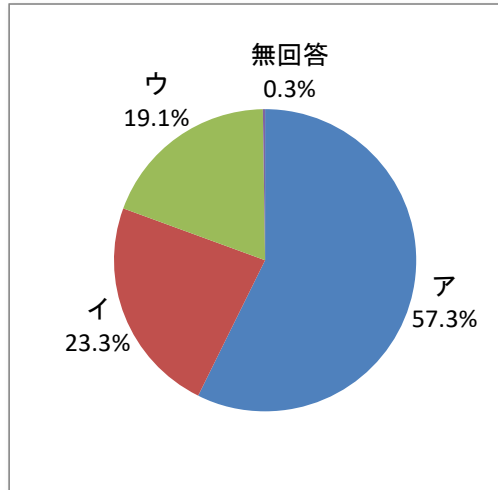
ア	知っている	67.3%	1,072
イ	聞いたことがある	23.9%	380
ウ	知らなかった	8.7%	138
無回答		0.1%	3
		100.0%	1,593



Q2 梅毒に感染していると無症状でも人に感染させることがあると知っていますか。
(単一選択)

n = 1,593

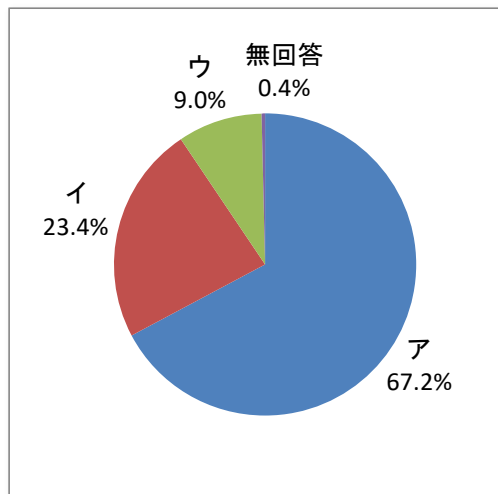
ア	知っている	57.3%	913
イ	聞いたことがある	23.3%	371
ウ	知らなかった	19.1%	305
無回答		0.3%	4
		100.0%	1,593



Q3 梅毒は適切な治療を行えば治ることを知っていますか。
(単一選択)

n = 1,593

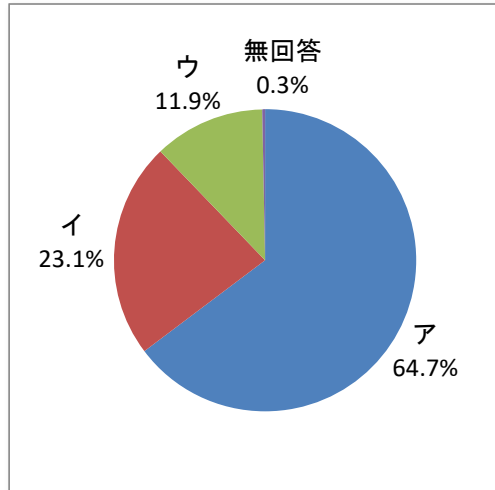
ア	知っている	67.2%	1,071
イ	聞いたことがある	23.4%	372
ウ	知らなかった	9.0%	144
無回答		0.4%	6
		100.0%	1,593



Q4 妊娠中に梅毒に感染すると胎児にも影響があることを知っていますか。
(単一選択)

n = 1,593

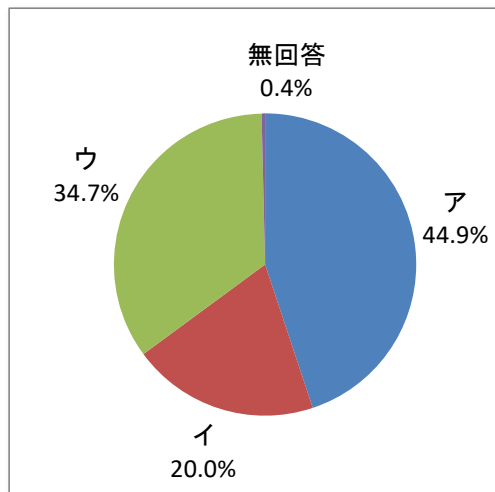
ア	知っている	64.7%	1,031
イ	聞いたことがある	23.1%	368
ウ	知らなかった	11.9%	189
無回答		0.3%	5
		100.0%	1,593



Q5 梅毒は何度も感染することがあることを知っていますか。
(単一選択)

n = 1,593

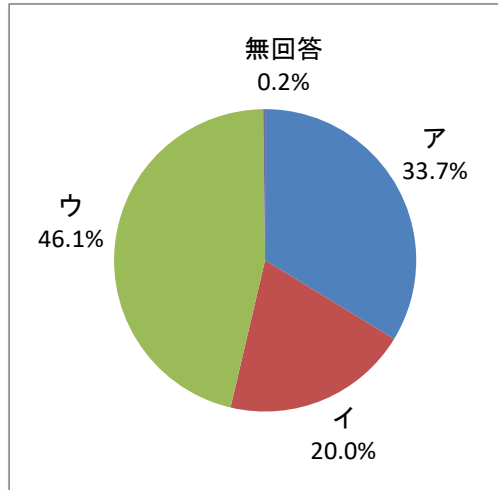
ア	知っている	44.9%	715
イ	聞いたことがある	20.0%	319
ウ	知らなかった	34.7%	553
無回答		0.4%	6
		100.0%	1,593



Q6 梅毒は無症状で経過したり、症状が一旦消失したりすることを知っていますか。
(単一選択)

n = 1,593

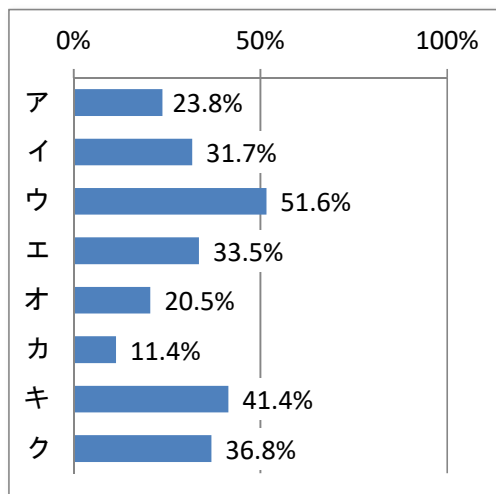
ア	知っている	33.7%	537
イ	聞いたことがある	20.0%	318
ウ	知らなかった	46.1%	735
無回答		0.2%	3
		100.0%	1,593



Q7 梅毒について知っている症状はありますか。
※知らない方はそのままQ8へ進んでください。
(複数選択可)

n = 1,593

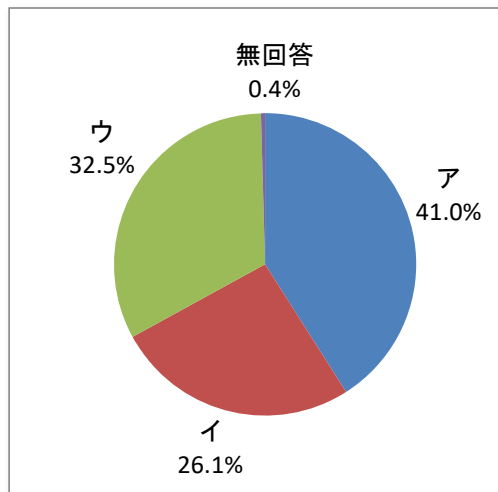
ア	しこり	23.8%	379
イ	リンパ節が腫れる	31.7%	505
ウ	発疹(バラ疹)	51.6%	822
エ	発熱	33.5%	534
オ	倦怠感	20.5%	327
カ	扁平コンジローマ	11.4%	181
キ	ただれ	41.4%	660
ク	できもの	36.8%	587



Q8 オーラルセックス(口腔性交)でも感染することがあると知っていますか。
(単一選択)

n = 1,593

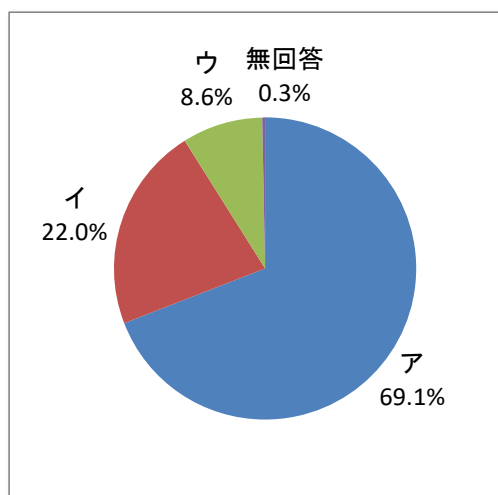
ア	知っている	41.0%	653
イ	聞いたことがある	26.1%	415
ウ	知らなかった	32.5%	518
無回答		0.4%	7
		100.0%	1,593



Q9 梅毒の予防には、コンドームの正しい利用が有効であることを知っていますか。
(単一選択)

n = 1,593

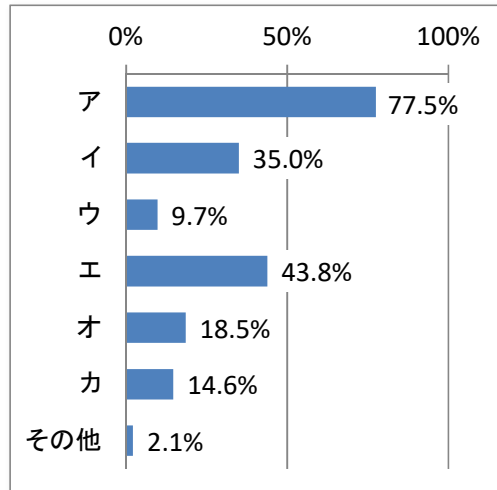
ア	知っている	69.1%	1,101
イ	聞いたことがある	22.0%	350
ウ	知らなかった	8.6%	137
無回答		0.3%	5
		100.0%	1,593



Q10 梅毒について調べる場合、情報はどこで得ますか。
(複数選択可)

n = 1,593

ア	ウェブページ(公的機関:厚生労働省、国立感染症研究所、保健所など)	77.5%	1,235
イ	ウェブページ(上記の公的機関以外:個人サイトなど)	35.0%	558
ウ	SNS(LINE、X(旧Twitter)、Facebookなど)	9.7%	155
エ	医療機関(病院、医院など)	43.8%	698
オ	書籍	18.5%	295
カ	性感染症に関するリーフレット	14.6%	233
その他		2.1%	34



その他(抜粋)

調べたことはない

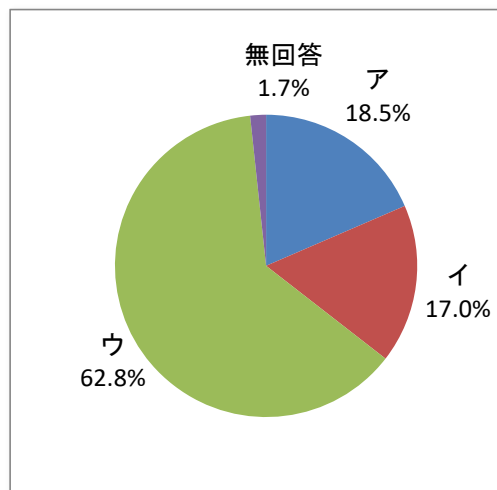
学校の授業

ニュース

Q11 横浜市が実施しているHIV・梅毒検査事業(無料・匿名)を知っていますか。
【参考】HIV・梅毒検査について(横浜市ウェブサイト)
<https://www.city.yokohama.lg.jp/lang/residents/living-guide/welfare/hiv.html>
(単一選択)

n = 1,593

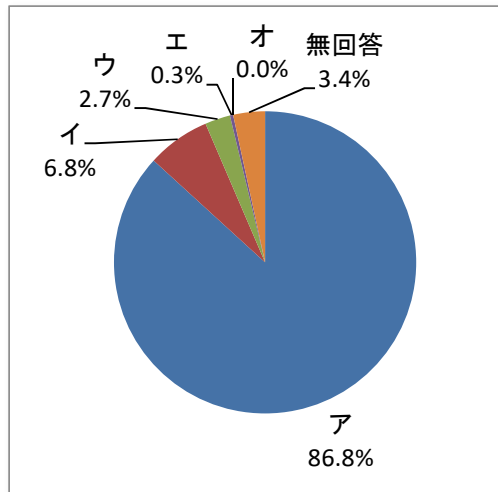
ア	知っている (Q12へ)	18.5%	295
イ	聞いたことがある (Q13へ)	17.0%	270
ウ	知らなかった (Q13へ)	62.8%	1,001
無回答		1.7%	27
		100.0%	1,593



Q12 Q11で「ア 知っている」と答えた方にお聞きします。
 横浜市が実施しているHIV・梅毒検査(無料・匿名)を受けましたことがありますか。
 ※ 回答は任意です。回答を希望されない方はそのままQ13へ進んでください
 (単一選択)

n = 295

ア	ない	86.8%	256
イ	1回	6.8%	20
ウ	2~3回	2.7%	8
エ	4~9回	0.3%	1
オ	10回以上	0.0%	0
無回答		3.4%	10
		100.0%	295



Q13 梅毒および梅毒の普及啓発について、ご意見がございましたら、ご自由にお書きください。
 (自由意見)

(抜粋)

公共機関の公告や、デジタルサイネージ等を活用し、多くの人が意識しなくても、日常的に正しい情報を得られる環境を整えることが、大切なのではないかと思います。
梅毒を知らなかった。最近梅毒が増えているのであれば、周りにもっと知ってもらいたいと思う。HIV・梅毒検査が無料、匿名で受けられるのはありがたい。パートナーに病気をうつしたり、うつされたりすることがないように、感染の恐れがある人にはぜひ受けてほしい。
性教育の一環として10代半ばまでには、梅毒だけでなく、その他の性感染症についても教えておくことが感染予防や感染の拡大抑制に効果的なのではないかと思います。
昔に流行った病気としか思っていなかった。今回のアンケートをきっかけに知識を高めたいと思う。
性病は話題にすることも、ましてや、かかることも恥ずかしいというイメージがある。子どもに対しても生理や性行為のことは話しても、性病について気をつけるように言ったことはない。大人であれば誰でもかかる可能性があるものだというイメージに変えていけたら良い循環が生まれるのかなと思う。
HIVの無料検査は浸透しているが、梅毒は知らなかった。もっと宣伝して良いと思う。
感染によるリスクや、予防できること、治療すれば治ることを年齢に関係なく正しく伝える必要がある。
聞いたことはあるけど、知らないことがたくさんあった。一定期間経ってないと、判定できないことも驚きだった。普及啓発については、検査事業があることの認知度が上がるといいと思う。
自分にはあまり関係ないと思っていたが、もしかしたら身近な人に起こっていることかもしれないと危機感を感じた。普及啓発活動を行っていることを知ることができて良かった。
出産に備えて梅毒が母子感染することを初めて知った。子どもの安全の観点で啓発するのも一案かと思う。